

## 在学生調査（１年生）

本学では、卒業時に身につけるべき能力を6つのコンピテンシとして掲げております。さらに、その具体的能力をコンピテンシーと定め、これらを身につけるための教育プログラムを、学生の皆様に提供しております。

そこで、現在のあなたが身につけているコンピテンシーについて、当てはまるもの一つに○をつけてください。

学籍番号							氏名		(%)	
コンピ テンス	コンピテンシー						当ては まる	やや当 てはま る	やや当 てはま らない	当ては まらない
1) 生 命・医 療倫理	1. 患者・患者家族の多様な背景を踏まえ、その立場を尊重した医療を実践することができる。						3.4	33.2	30.5	33.0
	2. 生命・医療倫理、ヒューマニズムに立脚し、法的責任と規範を遵守した医療を実践することができる。						3.1	25.8	34.1	37.0
	3. 自己評価に基づいた生涯にわたる自己研鑽と次世代を育成する態度を有している。						3.1	28.9	37.0	30.9
2) コ ミュニ ケーションと チーム 医療	1. 患者・患者家族・医療チームの同僚と、多様な背景を踏まえて傾聴、理解、共感・支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。						6.5	33.3	35.1	25.1
	2. 患者・患者家族・医療チームの同僚との信頼関係を構築し、情報の収集、説明と同意などを実践できる。						5.6	27.3	36.0	31.1
	3. 医療チームに参加し、協調的態度で役割を果たし、必要に応じて他者に援助を求めることができる。						5.6	27.1	35.1	32.2
	4. 病院および地域社会におけるチーム医療に積極的に参加することができる。						5.4	23.0	35.3	36.2
3) 薬 学及び その関 連領域 の知識	1. 人間と薬学（生命・医療倫理、心理学、法規と倫理、社会と薬学）の理解に基づき、医療・創薬の現場でその知識を応用できる。						3.1	23.0	37.8	36.0
	2. 物理学（物理学、物理化学、無機化学、分析化学、放射化学）の理解に基づき、医療・創薬の現場でその知識を応用できる。						1.6	13.2	42.3	43.0
	3. 化学（有機化学、天然医薬品学、漢方薬物学、生体分子の化学）の理解に基づき、医療・創薬の現場でその知識を応用できる。						3.1	19.1	36.8	41.0
	4. 生物学（生物学、機能形態学、生化学、微生物学、免疫学）の理解に基づき、医療・創薬の現場でその知識を応用できる。						2.7	17.9	41.8	37.6
	5. 健康と環境（健康保持、疾病予防、生活環境と健康、食品の安全性と管理、化学物質と生体影響）の理解に基づき、医療・創薬の現場でその知識を応用できる。						2.7	15.2	35.1	47.0

コンピ テンス	コンピテンシー	当ては まる	やや当 てはま る	やや当 てはま らない	当ては まらない
3) 薬 学及び その関 連領域 の知識	6. 医薬をつくる（物理薬剤学，生物薬剤学，製剤設計と薬物送達学，テーラーメイド医療）の理解に基づき，医療・創薬の現場でその知識を応用できる。	1.1	9.5	32.1	57.3
	7. 薬と疾病（薬理学，薬物治療，医薬情報）の理解に基づき，医療・創薬の現場でその知識を応用できる。	1.4	9.9	31.2	57.6
	8. 薬学臨床（調剤学，医薬品安全性評価，一般用医薬品学，薬局・病院学，医療プロフェッショナルリズム）の理解に基づき，医療・創薬の現場でその知識を応用できる。	1.4	9.3	30.7	58.7
4) 薬 物治療 におけ る専門 的実践 能力	1. 薬物の性質を理解して医薬品を扱うことができる。	1.1	11.1	28.9	58.9
	2. 薬物の作用機序を理解して医薬品を扱うことができる。	1.4	9.0	29.3	60.3
	3. 医薬品の多様な特性と法的な規制を理解し，調剤を実施できる。	1.4	8.1	27.8	62.8
	4. 医薬品の多様な特性と法的な規制を理解し，医薬品を管理および供給できる。	1.6	7.9	28.0	62.5
	5. 患者背景を適切に収集し，科学的な根拠に基づいた病態を把握できる。	1.6	9.3	28.2	60.9
	6. 代表的な疾患に対する適切な薬物治療を，科学的な根拠に基づき提供できる。	1.1	8.6	26.6	63.7
	7. 薬物治療を適切に評価できる。	1.4	10.0	27.1	61.5
5) 社 会貢献	1. 地域におけるセルフメディケーションと在宅医療に積極的に関わる。	3.2	15.4	36.7	44.8
	2. 地域社会に求められる保健衛生や社会奉仕に参加する責任感と態度を持つ。	3.4	25.2	39.2	32.2
	3. 医薬品とその使用に関する医療的・社会的問題の解決に積極的に関わる責任感と態度を持つ。	3.9	25.2	34.5	36.5
6) 薬 学・医 療領域 におけ る科学 的探求 能力	1. 薬学・医療に関わる課題を発見し，その解決のための科学的理論と方法論を理解できる。	3.2	17.2	34.5	45.1
	2. 薬学・医療領域の問題点を専門領域を超えて探求・解決する能力を有する。	3.4	16.5	35.1	45.0
	3. 医療の進歩に対応するために，薬剤師として生涯にわたり自己学習する意欲と態度を有する。	9.5	35.5	31.7	23.3

本アンケート用紙は、9月19日（水）17：00までに、薬学事務課前に設置してある投函箱にご提出ください。

質問は、教学 IR 研究推進課 在学生調査担当（電話番号：042-676-7306）までお問合せください。